

情勢報告

平成 29 年度農業改良普及推進協議会を開催



本年度の計画について熱心に検討

6 月 20 日、農業改良普及課は田野町ふれあいセンターで農家の代表者や JA、市町村関係機関からなる「平成 29 年度農業改良普及推進協議会」を開催し、構成員（19 人）の参加がありました。会では、今後の普及活動に活かすための意見を収集することを目的に、平成 29 年度普及指導計画の重点プロジェクト、総合課題及び個別課題について説明し、意見を求めました。

構成員からは、環境制御技術の推進や労働力確保の対策、担い手の確保等について多数の積極的な意見や提案を聞くことができました。

農業改良普及課は、構成員からいただいた意見や提案を今後の普及活動に反映します。

湿度を下げて病害対策を！ ～穴内出荷場研究会青年部会反省会～



ハウス内湿度が95%以下になるような管理をしましょう

6月22日、穴内出荷場研究会青年部会の反省会を穴内出荷場2階で開催し、青年部会員14人中9人（生産者は計11人）が出席しました。

農業改良普及課は、病害防除の技術向上を目的に、相対湿度の低下による病害の抑制効果について、環境制御実証農家の温度・湿度管理の事例を交えて情報提供しました。

穴内出荷場研究会ナス部会長から青年部会員に「環境制御による病害防除の技術をどんどん地域に進めたい」とアドバイスがあり、環境制御による病害防除への意欲が伝わってきました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携して病虫害防除に関する情報提供を継続し、特にナス黒枯病の発生抑制による収量・品質の向上に努めます。

しっかり焚けば病気も減るぜよ ～安芸集出荷場総合部会反省会ナス分科会～



ナスでの湿度制御の重要性を説明する普及指導員

6月30日、JA土佐あき安芸集出荷場総合部会の反省会が安芸集出荷場で開催され、ナス、ピーマン、米ナス、ミョウガなどの生産者28人が参加しました。全体会の前に5つの分科会に分かれて各品目の課題について協議しました。

ナス分科会では農業改良普及課から、湿度制御による黒枯病、すすかび病の病害防除に関して情報提供しました。

除湿暖房に取り組んだ生産者2人からは、「加温費はかかってしまうが、病気を抑えるために焚いたら黒枯病は出なかった」、「前作は黒枯病でボロボロの状態。今作は加温したら黒枯病などによる水泡症が出なかった」と成功体験を聞くことができ、他の生産者の除湿暖房による黒枯病防除への意識啓発につながりました。

農業改良普及課は、今後も湿度制御も含めた環境制御技術・病害対策技術の導入を進め、ナスの収量・品質の向上に努めます。

サトウキビの今後の取り組みは？～集落保全営農組織平・花田が役員会を開催～



サトウキビを続けるために、
課題を1つ1つクリアしていこう！

7月5日、奈半利町の集落保全営農組織平・花田が役員会を開催し、役員4人と役場職員1人が参加しました。協業栽培品目であるサトウキビの取組課題を共有し、今後の改植等の作業内容を確認しました。

農業改良普及課は、サトウキビの改植スケジュール等を提案しました。

役員からは、「加工や販売も含めて今後もサトウキビを継続するための方法を模索したい」との意見が出されました。

農業改良普及課は、関係機関と連携して、集落営農組織の活動のステップアップに向けて引き続き支援します。

夏野菜料理講習会の準備 ～中芸地区農漁村女性グループ研究会役員会～



中芸の野菜を食べてもらおう！！

7月7日、安田町中芸出荷場で中芸地区農漁村女性グループ研究会役員会を開催し、7月23日に高知城歴史博物館が開催する「日曜市料理教室」の内容を検討しました。

農業改良普及課は、料理講習会のメニューを決定できるようにレシピを取りまとめて実施計画書を提案しました。

役員会では、ナスとオクラを活用したメニューや農産物の手配について検討し、「ナスのはさみ揚げ」や「オクラとろろにゅうめん」等6品目のメニューを決定しました。

農業改良普及課は、今後もグループが農産物の消費拡大や伝承料理活動に積極的に取り組めるように支援します。

農業の基礎を学ぼう！～農業基礎研修講座を開催～



農薬を均一に溶かす方法を学ぶ受講生

7月11日、農業改良普及課が主催の第1回農業基礎研修講座を安芸総合庁舎で開催し、新規就農者や研修生9人とJA職員4人、合計13人が参加しました。本講座は、新規就農者等の栽培・経営技術の向上、安定化を図ることを目的に普及指導員が講師となり開催しています。第1回目は「農薬の使用について」講義しました。

参加者からは「薬剤抵抗性について勉強になった」、「夕方の薬剤散布で薬害が出やすい理由が分かった」といった声が聞かれ、農薬の使用方法について理解してもらうことができました。

農業改良普及課は、今後も月1回、全8回の計画で講座を開催し、新規就農者等の栽培・経営技術の向上・安定化につながるよう支援します。

若い力でユズを盛り上げよう！～担い手交流会 IN 馬路村～



馬路村のユズの樹は
こういう仕立て方がやね！
(馬路村のユズ園地視察)

7月12日、馬路村で、JA土佐あき柚子部の若手生産者14人と物部村の若手生産者5人でユズ担い手交流会を開催しました。

馬路村のユズほ場では、農業改良普及課が馬路村のユズ栽培の状況等について説明しました。その後の情報交換会では、馬路村の生産者やJA、役場も交えて、馬路村のユズの生産量や商品の販売状況、各生産者の雇用状況、馬路村で今年度実施予定のワーキングホリデー事業等について活発な意見交換ができ、有意義な会となりました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してユズ担い手交流会の活動を支援し、ユズの担い手育成に努めます。

愛媛県あいネットワークとの交流 ～安芸・室戸地区農村女性リーダー～



これからもお互いパワーアップ！！

7月12日、愛媛県のあいネットワーク（伊予地区の女性認定農業者及び認定農業者のパートナー組織）の14人が視察研修に訪れ、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会の11人と交流しました。交流会では、お互いの活動を紹介し、自己紹介を兼ねて経営内容等について情報交換しました。

伊予地区からは、「女性が通帳をもってお金を持てるようになったのが楽しい」、「安芸地区でナスを栽培しているところを見てみたい」といった声があり、安芸・室戸地区からは、「活動には若い人の意見を取り入れることが必要」、「『いや』と思わず、まずは挑戦してみることから取り組んでいる」といった声が聞かれ、両組織とも今後の活動への意欲が向上しました。

農業改良普及課は、これからも農村女性リーダーの自主的な活動を支援します。

GAP に取り組み食品・環境・労働の安全を！～吉良川集出荷場合同反省会～



皆でGAPに取り組みましょう！

7月18日、吉良川集出荷場に出荷しているピーマン、シシトウ、キュウリ部会が合同反省会を開催し、10人の生産者が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、農林水産省のガイドラインに準拠した高知県版GAP（生産管理工程）の取り組みについて説明しました。

生産者からは「GAPチェックシートは項目がかなり多くてしんどいが県外に遅れるわけにはいかん。頑張って取り組もう」という前向きな意見が出され、取り組みへの意欲を確認することができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も安全・安心な農産物の生産に向けて、産地全体のGAPの取り組み（GAP説明会、栽培管理指導、経営改善指導）を支援します。

今年の穂肥はいつもどおりでえいろうか？ ～東川酒米研究会 現地巡回と穂肥検討会～



葉の色もちょうどえい具合やね～

7月18日、東川酒米研究会の生産者10人を対象に酒米「吟の夢」の現地巡回と穂肥の検討会を開催しました。

農業改良普及課は、現地ほ場で幼穂の形成状況や病虫害の発生状況などを確認しました。その後の穂肥の検討会では、事前にJAと調査した各農家の生育結果を基に、穂肥の施用方法について指導しました。

生産者からは、「穂肥が済んだらカメムシなんかの防除もしっかりやっとう」「もし害虫の発生があったら声を掛け合って情報を共有しよう」といった声が聞かれ、品質に対する意識が向上しました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して現地巡回や現地検討会などを通じて酒米品質の向上に努め、産地振興に取り組めます。